

【英検®準1級】要約問題 5/8

Name: _____ / Date: _____ Score: ___/8 ⏳ 15 min

🎯 目標得点 12 / 16 以上

【A】英検®準1級型 要約問題

- Read the article below and summarize it in your own words as far as possible in English.
- Summarize it between 60 and 70 words.
- Write your summary in the space provided on Side A of your answer sheet. Any writing outside the space will not be graded.

In recent years, some cities have started using facial recognition technology in public places such as airports, train stations, and shopping areas. This technology can identify people by analyzing images of their faces. Supporters argue that it may improve security and help police find criminals more quickly.

Advocates believe facial recognition systems can prevent crime and increase public safety. For example, security staff may identify dangerous individuals before incidents occur. The technology may also make some services more convenient because people can enter buildings or make payments without showing identification cards or passwords.

However, critics are concerned about privacy and fairness. Some people worry that governments or companies may collect personal information without permission. Others point out that facial recognition systems sometimes make mistakes, especially when identifying women or minority groups. As a result, innocent people may be treated unfairly because of inaccurate data.

※東大型 日本語要約問題

上の英文を読み、その内容を70～80字の日本語で要約せよ。句読点も字数に含める。

解答用紙

Side A 英検®準1級型 要約 語数指定:60~70語

※Side B 東大型 日本語要約 字数指定:70~80字

解答に当たっての注意点

【A】英検®準1級型 英語要約

- ① 3文構成を守る:1文目=話題、2文目=利点、3文目=欠点+結論。
- ② 本文の丸写しを避ける:4語以上続けて写さず、動詞・形容詞を中心に言い換える。
- ③ 具体例を書きすぎない:bicycle lanes や bike-sharing services は improving infrastructure に圧縮する。
- ④ 利点・欠点は2~3点に整理する:利点=環境・交通・健康、欠点=安全・駐輪・車との対立。
- ⑤ However などに対比を明確にする:利点から欠点へ移る論理を示す。
- ⑥ 60~70語を厳守する:短すぎると内容不足、長すぎると指示違反になる。

- ⑦ 主語と動詞を明確にする:長すぎる文を避け、読みやすい英文にする。

【B】東大型 日本語要約

- ① 1文でまとめる:現状・利点・課題・結論を一文に統合する。
- ② 賛否+結論を入れる:自転車利用の拡大、利点、課題、調整の必要性を落とさない。
- ③ 具体例は削る:自転車レーンやシェアリングは書かず、環境・健康・安全性などに抽象化する。
- ④ 「一方」を使う:利点と課題の対比を明確にする。
- ⑤ 結論を入れる:「各交通主体の調整が求められている」まです。
- ⑥ 70~80字を厳守する:字数条件から外れないようにする。
- ⑦ 名詞中心で圧縮する:「利点」「課題」「対立」「調整」などの語を使う。

【英検®準1級】要約問題 5/8 解答・解説

テーマ:顔認識技術

【A】英検®準1級型 解説

この要約は、本文の3段落構成をそのまま3文構成に整理している。第1文では、顔認識技術が公共の場で広がっていることと、それが社会的な議論の対象になっている点をまとめている。本文中の *airports, train stations, and shopping areas* は具体例であるため、要約では *public places* と抽象化している点が重要である。

第2文では、第2段落の利点を整理している。本文では「防犯」「犯罪の予防」「危険人物の特定」「身分証やパスワードなしでの利用」などが述べられている。しかし、すべて列挙すると語数が増えすぎるため、*improve security / prevent crime / provide more convenient services* のように圧縮している。特に、建物への入場や支払いの具体例は、*convenient services* とまとめるのがよい。

第3文では、批判側の問題点をまとめている。個人情報の無断収集は *threaten privacy*、誤認識は *mistakes and inaccurate data*、無実の人への不利益は *unfairly affect innocent people* と整理している。本文では *women* や *minority groups* という具体例も出ているが、英検型の要約では、それらを細かく書くよりも「不公平な扱い」と抽象化の方が語数効率が良い。英検型としては、「技術の普及 → 利点 → 問題点」の流れが明確で、本文の核心を60語に収めた答案である。

【A】英検®準1級型 模範解答①

As facial recognition technology becomes more common in public places, many people are discussing its effects on society. Supporters say it can improve security, prevent crime, and provide more convenient services. However, critics argue that the technology may threaten privacy and unfairly affect innocent people because of mistakes and inaccurate data.

語数:60語

ポイント①

・「技術普及→利点→問題点」の3文構成が明確

・*security / convenient services* で利点を圧縮

・*privacy* と *inaccurate data* を回収して本文の核心を押さえている

【A】英検®準1級型 模範解答②

The spread of facial recognition systems has become an important issue in modern society. Proponents believe this technology can increase safety and make daily services more efficient. On the other hand, opponents point out problems including privacy concerns, inaccurate identification, and unfair treatment of some groups caused by technological errors.

語数:60語

ポイント②

・*has become an important issue* のテンプレを使用

・*increase safety / make services efficient* と抽象化

・*inaccurate identification* から *unfair treatment* へ論理的につなげている

【A】英検®準1級型 ダメ解答

Many places use facial recognition technology because it is useful for security and finding criminals quickly. People can also enter buildings and buy things more easily. However, some people worry because cameras collect information and the technology sometimes makes mistakes with women and minority groups today.

語数:60語

ダメなポイント

・*finding criminals quickly / enter buildings / buy things* など具体例に寄りすぎている

・*today* が不自然な語数調整になっている

・*privacy* や *unfair treatment* などの抽象化が弱い

・「社会的影響」という大きな論点が見えにくい

・全体的に説明文寄り、準 1 級要約として整理が不足している

【B】東大型 日本語要約 解説

この英文の中心は、「顔認識技術は安全性や利便性を高める可能性がある一方、プライバシーや公平性の問題を引き起こす」という点にある。したがって東大型要約では、単に「便利な技術である」とまとめるのではなく、「利点」と「問題点」を対比させて一文に統合する必要がある。

第 1 段落では、顔認識技術が公共空間で使われ始めていることが述べられている。ただし、空港・駅・商業施設といった具体例は削る。ここは「公共空間で顔認識技術の利用が広がる中」と簡潔にまとめるのが適切である。

第 2 段落では、防犯や利便性の向上が利点として示されている。危険人物の発見、建物への入場、支払いなどの具体例は、「防犯」や「利便性向上」と抽象化できる。東大型では、具体例を並べるよりも、上位概念でまとめることが重要である。

第 3 段落では、個人情報の収集、誤認識、特定の集団への不公平な扱いが問題として示されている。模範解答では、これらを「個人情報収集」「誤認識による不公平な扱い」「プライバシーと公平性の問題」と整理している。この問題では、①顔認識技術の利用拡大、②防犯・利便性、③プライバシー、④公平性の 4 要素を入れることが高得点につながる。

【B】東大型 日本語要約 模範解答①

顔認識技術は防犯や利便性向上に役立つ一方、個人情報収集や誤認識による不公平な扱いなど、プライバシーと公平性の問題も生じさせている。

字数:76 字

ポイント①

- ・「利点→問題点」の対比が明確
- ・「誤認識」を用いて内容を圧縮
- ・プライバシーと公平性という核心を回収している

【B】東大型 日本語要約 模範解答②

公共空間で顔認識技術の利用が広がる中、防犯や利便性への期待がある一方、個人情報管理や誤認による差別への懸念も高まっている。

字数:74 字

ポイント②

- ・「利用拡大→期待→懸念」の流れが自然
- ・「差別」で unfair treatment を簡潔に表現
- ・抽象度が高く、東大型要約として無駄が少ない

【B】東大型 日本語要約 ダメ解答

顔認識技術を使うと犯罪者を見つけやすくなり、建物にも入りやすくなるが、カメラで情報を集められる問題もある。

字数:62 字

ダメなポイント

- ・字数不足で大幅減点対象
- ・「犯罪者を見つける」「建物に入りやすい」など具体例中心になっている
- ・「プライバシー」「公平性」という本文の核心が弱い
- ・誤認識による不公平な扱いが抜けている
- ・結論性がなく、東大型要約として論の広がり不足している